

毎月11日掲載

## 防災・減災のページ

## むすび塾

## 巡回ワークショップ @宮城・美里 駅東行政区

巡回ワークショップ  
むすび塾→交流フローティング、  
年3回のお祭り会合ロード、一斉  
本年度、自主防災組織を設  
立した。昨年初めて地盤  
の生き生を想定した防災訓練を  
行ったが、参加者の多くが「な  
くわざと車にぶつかり、自転車  
が倒れたり、歩行者が倒れたり  
など、実際の状況を再現する  
訓練が多かった」と評価してい  
た。また、「被災したときに役立つ  
知識を学ぶことができた」とい  
う声も多かった。巡回ワークショップを実施し、  
地域の防災意識を高めた。  
新興住宅地の住民らが、巡回の備え話を話を合った。

## 駅東行政区

駅東地区は、小牛田駅に隣接した住宅街で、2000年度に販売開始した。震度5弱前後は5千戸世帯、震度6弱後は、石巻、東松島市や宮城県仙台市若林区のほか、鳴瀬川が流れる行政区は1300人まで増えた。一方で、平野で約1km南を走る支線が軒並み結び付いた。7月1日現在は、3800世帯となり、年1回の「ゆとり」た。

減災・復興支援機構理事長  
**木村 拓郎さん**



## 地域の人材を発掘、活用

年数回は小中学生が広報誌を配布し、町内会と世代間交流を図る



## 備えにつながるコミュニティ活動

町内会でホームページを作り、  
平時から情報発信し、災害発生時にも利用する



イラスト 東海林伸吾



## 宮下 加奈さん

## 工夫凝らし交流促進

加奈さんだけOK! といつ  
氣軽さが大切。子どもに  
お茶会や保育園などを借  
用して、地域の交流を促す  
方法で、次回は「お祭りの  
準備をして、子どもたち  
と一緒に楽しむ」ことを目  
的としている。

協力して、地域の交流を促  
進するためには、子どもたち  
の心をつかんで、地域の  
文化や伝統を理解して、  
地域の文化を尊重するこ  
とに努めている。

## 訓練内容は全戸配布

旭台行政区のアドバイス  
① サイレン付きハンドマイクを活用する  
② 自主防災組織の活動方針を全文配布する  
③ 仮埋のロリックを電灯タイプに変更する  
④ 防災資材の購入費を自前で稼ぐ  
⑤ 近くの学校と連携する

▶ サイレンの回数で避難の開始や火災の発生などを住民に知らせる  
▶ 組織の取り組みを周知することで、地域の防災意識が高まる  
▶ ロリックの転倒による火災を防ぐ  
▶ 戻りの回収の収益やマッチ助成制度を使い更新する  
▶ 下校中の災害発生を想定した同じ避難訓練などを取り組む



## 笹原 茂夫さん

情報伝達する。1回は身  
の安全の確保、2回は災  
害時の集合、3回は火  
事発生時に必要なもの  
の確保などを教える。

消防隊は月間に1回  
訓練を行って、訓練の参  
加者が多い場合は、月に2回  
訓練を行っている。



【被災地の不安】地域で人普  
らの高齢者はどう対応したら  
いいか。訓練の妥当性などを通  
じて、歩つや策を進めていく  
たい。

【被災地の不安】震災直後、食  
料が尽きる。ガソリンが不足して、  
足りなくなってしまう。年度末、  
自衛防災組織をつくったが、個人  
の備えも大事だ。駅東行政区長  
は「まだつながる」。

【被災地の不安】震災直後、食  
料が尽きる。ガソリンが不足して、  
足りなくなってしまう。年度末、  
自衛防災組織をつくったが、個人  
の備えも大事だ。駅東行政区長  
は「まだつながる」。

【参加して】笠原さんの話を聞  
き、自衛の心になる。支  
援機関、住民が皆で、  
自分自身で行動して、  
防災訓練を実施して、  
自分たちの命を守る。課  
題だ。義典社会福祉議会・羽  
生安愛さん (30)

【交流の促進】引き越してきた  
母親たちがなるべく支  
援機関、住民が皆で、  
自分自身で行動して、  
防災訓練を実施して、  
自分たちの命を守る。課  
題だ。義典社会福祉議会・羽  
生安愛さん (30)

【交流の促進】お年寄りの孤立  
を防ぐため、地域で小中学生が立  
派な防災訓練を実施されないと思  
う。経験をもつて、お年寄りの命を守  
う。むすび塾で、被災地の防災訓練を  
実施して、地域の防災意識を高め  
たい。

【交流の促進】お年寄りの孤立  
を防ぐため、地域で小中学生が立  
派な防災訓練を実施されないと思  
う。経験をもつて、お年寄りの命を守  
う。むすび塾で、被災地の防災訓練を  
実施して、地域の防災意識を高め  
たい。

【震災の体験】住んでいた安川  
は震災後の日々間違った孤島にな  
った。地域でお祭りやロボット等を  
開催して、新しい人を連れてきて、  
今はさまよえを防ぐ。意識を高めた  
う。経験をもつて、お年寄りの命を守  
う。むすび塾で、被災地の防災訓練を  
実施して、地域の防災意識を高め  
たい。

【震災の体験】町内の別の地域  
に住んで、150戸のうち  
8割が避難して、避難所の運営に不  
足して、地域の防災訓練を実施して、  
地域の防災意識を高めた。水害保険やトライの問題  
が解決している。が最も大きかった。  
が解決している。が最も大きかった。  
が解決している。が最も大きかった。  
が解決している。が最も大きかった。